



すずかけ

令和3年3月1日
No. 13 (第212号)



文責及び発行責任者：校長

中町北小学校のホームページ更新中 「中町北小」で検索

みんなのハッピー わたしのハッピー そのために・・・

本校では年間目標として、「さわやかあいさつ あったかことば」を掲げ、毎学期「あいさつ名人」の認定等に取り組んでいます。加えて、子どもたちが規律のある生活を送るために、生活指導委員会で毎月、生活のめあてを設定し、子どもたちがそれを意識した学校生活を送ることができるように取り組んでいます。



本タイトルは「2月のめあて」で、子どもたちがみんなと気持ちよく生活するために、また、自分を伸ばすために一人一人が自分のめあてを決めました。子どもたちが設定しためあてをいくつか挙げると、「もくもく掃除をする」「あったか言葉をいっぱい使う」「目を見て笑顔であいさつをする」「発表を1日に3回する」などです。具体的には、自分が決めためあてを連絡帳に書き留め、日々、終わりの会などで振り返りながら取り組んでいきました。併せて、クラス全員のめあてを教室に掲示し、頑張っている友達に目を向けることも意識化させました。

この取組を通して、一人一人の児童が自分に合っためあてを設定し、日々、振り返りながら生活を送ることで、それを達成しようとする意識や意欲の向上を、継続的に図ることができました。また、6年生が毎日一人ずつ、交代で行っている下校時のスピーチでも、この取組に関する話題を取り上げる児童もあり、全校生の意識高揚に努めてくれました。さらに、私たち教職員も児童一人一人がどんなめあてを設定しているか把握できているため、「○○さん、めあてを意識して気持ちのいいあいさつができているね！」等、児童の頑張りを見つけ言葉をかけることができました。めあてを意識し、自分を伸ばそうと一生懸命に取り組む中北っ子たちの姿に接し、私は、大変嬉しい思いがしました。

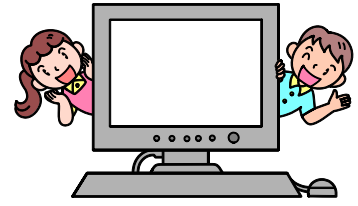
年度末、3月の生活のめあては、「ありがとうがあふれるしめくくり そのために・・・」を掲げ、友達、お世話になった方々、教室などに感謝の気持ちを持ち、温かい心で1年の締めくくりができるようにしていきたいと考えています。今月も2月と同様に、児童一人一人が生活目標に即しためあてを設定し、日々、自分を見つめ振り返りながら、自分を高めていけるように取り組んでいきます。

ありがとう

さあ、学年末まで残り20日余り。緊急事態宣言は解除されましたが、今後も気を緩めることなく感染予防を徹底していかなければなりません。子どもたちとともに、私たちも健康で元気な生活を送り、教職員一同、ラストスパートをかけながら全力で取り組んでまいります。最後まで皆様方のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

タブレットパソコンで学習しています！

コロナ禍での学習保障が課題となったこともあり、昨年より文科省による「GIGA スクール構想」が急速に進展してきました。一人1台タブレットパソコンを子どもたちが活用できるハード面の環境整備が完了し、各学年で少しずつ活用しています。まず、基本的な操作法を学習しました。電源を入れ、QRコードを読み



取ってタブレットにログインすることなど一通り操作法を学習すると、子どもたちはすぐに覚えます。さすがは現代っ子ですね。その後は、各学年の発達段階に応じて教科学習等で活用しています。今回は高学年での活用事例を簡単に紹介します。

■ **5年生**→道徳科の学習で活用しました。質問に対する自分の考えを一人一人がタブレットに書き込んでいくと、画面上に次々と表示されます。「私とAさんは同じような考えだな」「ボクとBさんは違っているなあ・・・」など、子どもたちは自分の考えと比較しながら画面を見つめています。これまでなら、お互いの発言を交流しないと、仲間の考えは分かりませんでした。画面上で友だちの思いや考えを共有することができます。

■ **6年生**→国語の時間に活用しました。これまでに作った詩、俳句、短歌の作品をスキャナーで読み込んでデータ化し、それを画面で見ながら、お互いの作品を鑑賞しました。画面上で全員の作品が共有できるため、楽しみながら授業に参加していました。

普段はノートに自分の考えを書かせた後、それを発言させたり子ども同士の発言を関係づけたりしながら板書等で整理して授業を進めていきます。一方、タブレットを活用すると、活用事例で紹介したように、子どもたちの意見集約、考えの共有などが画面上では短時間で可能となるだけでなく、その他にも幅広い活用ができます。では、何でもタブレットを活用すればよいかといえば、そうではありません。ICT機器は子どもたちの学習意欲を高め、学びを深めていくための一つのツールであると捉えています。タブレットを活用しつつも、自分の思いや考えをノートに書いたり整理したりすること。仲間に自分の思いや考えをしっかりと伝え合うとともに、お互いにきちんと受け止め合いながら学習に取り組んでいくこと。これらは、欠かすことができません。まさしく、学習活動における不易の部分です。

これからも、学習の中で試行錯誤を繰り返しながら様々な場面でタブレット活用を試み、子どもたちの学習意欲が高まる、より効果的な活用場面を探っていきたいと考えています。そして、私たちもタブレット活用研修等を積み上げ、学習における不易と流行のバランスを大事にしながら、子どもたちが自らの学びを深めていくための授業づくりの工夫、改善に地道に取り組んでまいります。



1月25日(月)～2月5日(金)縄跳び頑張り週間

1月25日(月)より2月5日(金)まで、縄跳び頑張り週間を設定しました。「寒さに負けず進んで運動する態度を養うこと」「調整力と持久力を養うこと」などを目的として、冬場の体力づくりに取り組んできました。取組は大きく2つで、1つ目は「朝の縄跳び運動」です。10分間の訓練で、体育委員会の児童が前に並んでお手本を示しながら、「前跳び」「あや跳び」「二重跳び」など、みんなでいろいろな技に挑戦しました。

2つ目は「縄跳びチャンピオン大会」(各学年で実施)です。自分が挑戦する技を一つ決めて、技ごとにチャンピオンを決めました。また、1年生は6年生の児童が、2年生は5年生の児童がサポートし、跳んだ回数を数えました。全校生が自分自身の体力アップとスキルアップに頑張りました。縄跳び週間が終わった後も、体育の時間や休み時間などを使って、子どもたちは縄跳び運動を楽しんでいます。

1月25(月)～2月5日(金) 児童会によるあいさつ推進運動

本校では年間を通じて「あいさつ運動」に取り組んでいます。これをさらに充実させていくために、児童会が「あいさつ推進運動」を企画し、全校生に呼びかけました。異学年間のあいさつを活性化させるために、児童一人一人が「友だちあいさつカード」を持ち、異学年の児童に気持ちのいいあいさつをしてもらったときに、そのカードを渡しました。また、教員も「先生あいさつカード」を持ち、気持ちのいいあいさつをした児童に渡しました。カードをたくさん集めることや友だちと枚数を競うことが目的ではなく、あいさつを通して心を繋ぐことの大切さを、より意識するための取組です。カードを活用し取組を「見える化」したことで、一層あいさつの輪が広がりました。



2月4日(木) 児童会新役員選挙

3年生以上の児童による児童会選挙を行い、来年度の児童会新役員4名を選出しました。今回は5年生児童8名が立候補しました。今年はコロナ禍のため、事前に選挙演説と推薦者の応援演説をビデオ撮りした映像を各教室で視聴しました。

立候補者は、児童会役員に立候補した意気込みや、こんな学校にしたいという思いを堂々と語りました。また、推薦者の応援演説は、立候補した友達の良さをしっかりと伝えていました。その後、各学級での投票により男女各2名の新役員を選出し、4名で互選した結果、下記の通り新役員が決まりました。



☆児 童 長
☆副児童長
☆書 記

この4名の新役員が、来年度の中町北小学校をリードしていきます。みんなで新役員を支え、より良い中町北小学校をつくっていきましょう。初仕事として、新役員が全体の進行を担当し、5年生全員で「6年生を送る会」の準備や運営等を行い、心温まる会をつくりあげてくれました。新年度からの活躍が、ますます楽しみです。



2月4日(木) 4年生 二分の一成人式

4年生は今年度で10歳になり、成人式までのちょうど「二分の一」です。その節目の年として、素敵な大人になるために10歳の誓いや未来への希望を語り、感謝の思いを伝える会を行いました。かねてから2月4日の参観日に計画していましたが、緊急事態宣言により参観日が中止となったため、参加可能な本校職員が参観しました。

児童によるはじめの言葉、校長の言葉に続き、一人一人が将来への夢や希望を堂々と語りました。次に、詩の暗唱や手話歌を披露し、クラスのまとまりを感じさせる素敵な発表でした。最後はサプライズとして、担任が家族の方からの手紙を一人一人の児童に手渡しました。静かに手紙を読みながら、両親をはじめ家族の方々が限りない愛情を注ぎ、ここまで大きく育ててくださったことをしみじみと感じ取り、感動のあまり涙ぐむ児童の姿も見られました。子どもたちがお互いの確かな成長を認め合う、心温まる時間となりました。



2月14日(日) 第4回PTA資源ゴミ回収

今年度最後の資源ゴミ回収を実施しました。早朝より本部役員、各地区理事の皆様や保護者の皆様方のご協力により、資源ゴミを回収していただきました。今年度はコロナ禍のため、計画していたPTA活動の多くを中止せざるを得ない状況でしたが、資源ゴミ回収は予定通り4回実施することができました。ご協力いただいた保護者や地域の皆様方に厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。なお、来年度よりPTA理事等による各地区での回収は行わず、4回とも持ち込みで実施させていただきます。ご理解くださいますようお願いいたします。



2月24日(水) 歌舞伎クラブ閉講式

今年度の歌舞伎クラブの閉講式を行いました。閉講式では6年生児童14名が、ご指導い

ただいた先生や師範から労いの言葉とともに、卒業記念として「まねき」(木札に名前を記したものをいただきました。その後、これまでの活動を振り返り、一人一人が自分の思いを発表しました。



指導していただいた先生方への感謝の思いとともに、5年生以下の部員には「これまでの伝統を受け継ぎ、守ってほしい」という願いを自分の言葉で伝えました。今年度はコロナ禍のため、子ども芸能祭は中止、校内発表会も無観客形式となり、練習の成果を多くの方々に披露する機会がなくなりましたが、クラブ員たちは自分のめあてを持って練習に励み、総仕上げの発表の場では堂々と演じました。厳しい条件の中で頑張り抜いたこの経験は、必ずや自分自身の力になると信じています。

最後に、クラブ員の減少等のため、誠に残念ではありますが三味線のパートは今年度をもって終了となりました。師範におかれましては、平成18年より15年間の長きにわたってご指導をいただきました。懇切丁寧なご指導のお陰で、三味線パートの部員たちはめきめきと上達し、毎年、子ども芸能祭や校内発表会等で素晴らしいバチさばきを見せてくれました。これまでのご功労に深く感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

重ねて、お世話になりました指導者の皆様方にお礼申し上げますとともに、来年度も引き続きよろしくお願いいたします。

2月25日(木) 6年生を送る会

コロナ禍のため、今年はリモートで各学年から6年生へ感謝のメッセージを伝えたり、事前録画したクイズのビデオを流したり、工夫して実施しました。プレゼントはお昼休みに、各学年から手渡しをしました。児童会新役員はもちろん、5年生児童一人一人が自分に与えられた役割をきちんとこなし、みんなで協力して準備万端整え、当日の運営にあたりました。リモートは初めての試みでしたがスムーズに進行し、お世話になった6年生と在校生との心の交流を図る、とても有意義なひとときとなりました。大きな行事をやり遂げ、5年生の子どもたちも大きな充実感を味わいました。一致団結して6年生を送る会の運営に取り組んだ5年生の皆さんの頑張りに、大きな拍手を送ります。本当にありがとう！！



ほのぼののニュース！

☆2月4日(木)、児童会新役員選挙演説会の時間に、私は3年生以上の各学年の教室を巡回していました。今回はビデオ視聴による演説会でしたが、一人一人の演説が終わった後、どのクラスでもごく自然に温かい拍手が送られていました。中北っ子たちが醸し出す温かい雰囲気を感じ、とても嬉しく思いました。



学校だより『すずかけ』返信欄から

毎回、感想やご意見をいただきありがとうございます。「すずかけ」は、保護者の皆様のお声を掲載し、学校改善に役立てていきたいと考えています。「すずかけ」2月1日号よりお寄せいただいたご感想等を紹介しします。

- ほのぼののニュース、とてもよかったです。うちの子もこんなふうに「ありがとう」が言える子になってほしいです。家でも悪い所ばかりでなく、良い所を見つけるようにしないといけないなと思いました。(1年 母)
- ・ありがとうございます。感謝の心を届ける「ありがとう」は、とても素敵な言葉だと思います。短所は目につきやすいですが、長所は意識して見ないと、なかなか見つかりにくいものです。良いところをたくさん見つけ、さらに伸ばしていけるようにサポートしていきたいですね。
- 縄跳びで体力をつけて無事に3学期を終えることを祈念します。中北小の子どもたちが温かい心を持った子どもたちに育っていくといいですね。(1年 母)
- ・縄跳び運動でいろいろな種目にチャレンジし、自信をつけた児童も多かったことと思います。素直で優しい心を持ち、これからの時代をたくましく生きていく中北っ子を、みんなで育てていきましょう。
- 残り少なくなった頃に、再度、緊急事態宣言が出てしまい、行事が中止になってしまうのは残念ですね。そんな中でも子どもたちに少しでも良い思い出をと、取り組んでくださっていること、とても有難いです。「二分の一成人式」、参加したかったです。(4年 母)
- ・コロナ禍が収まらない中、様々な行事等も、事前にビデオ撮りしたりリモートで実施したり工夫しながら取り組んでいます。「二分の一成人式」は、心温まる素敵なひとときでした。当日、保護者の皆様の参加があれば、さらに感動的な会になっていたでしょうね。
- 「すずかけ」の「味噌汁給食」のお話はとても印象的でした。不便ですが心が温まるふれあいがあり、温かな気持ちになりました。現代の子どもたちにもそんな気持ちになるようなふれあいが増えますように。寒い中通学しているので、ストーブの温かさは何とも言えないのではないのでしょうか(3年 母)
- 冬場だけ「味噌汁給食」のお話、とてもほっこりしました。いいお話ですね。まだまだ先の見えない中ですが、子どもたち先生方が元気で過ごしてほしいなと思います。今後よろしくお願いします。(6年 母)
- ・ひと昔前の懐かしい話題に共感いただき、ありがとうございます。コロナ禍にあって、人と人とのふれ合いや繋がりがどれほど大切で私たちの心の支えになるか、今、そのことを実感しながら生活している毎日です。健康面にはくれぐれも留意し、今後もみんなが元気に生活できることを願っております。

学校だより「すずかけ」3月1日号の内容はいかがでしたか。お読みいただいた後は、お手数をおかけいたしますが、下記の「読みました」に○を付けてご提出ください。また、紙面や学校の教育活動等についてのご意見、ご感想等をどんどんお寄せください。なお、ご意見等は紙面に掲載させていただくことがありますのでご了承ください。

学校だより「すずかけ」3月1日号返信欄 キリトリ線

読みました () 年 父・母・祖父・祖母・その他 ()

※紙面への掲載が不可の場合は×をつけてください。()

【ご意見・ご感想欄】